

講義名	日本語資格試験講座 【留学生科目】		
科目区分	留学生科目		
担当教員	野村 由香里		
開講期・曜日・時限	前期 水曜日 2時限		
履修開始年次	1年生	単位数	2
		講義コード	32019

主題と概要

日本語能力試験N1の合格を目指し、文法を中心に授業を行う。まず文法の意味と接続の形を様々な例文を挙げながら理解をする。また、学習した文法項目が日常でもつかえるように、例文作り等も行う。

到達目標

1. N1に合格できる文法力を身につける
2. 学習した文法項目を実際に読んだり、聞いたりした時に分かるようになる
3. 既習の文法を使い、例文を作ることができるようになる

提出課題

授業中に指示

評価の基準

中間試験（50%） 期末試験（50%）

履修にあたっての注意・助言他

1. 出欠確認は毎回点呼を行う
2. 5回以上欠席した場合は期末試験を受けることができない
3. 授業が始まって15分以内の入室は遅刻とみなし、遅刻3回で1回の欠席となる
4. 15分以上の遅刻は欠席とみなす（授業は受けてもよい）
5. 授業時には辞書を携帯すること

教科書

.使用しない.

プリント資料及び参考文献

1. 『くらべてわかる日本語表現文型辞典』大阪YWC A リサーチ 2009 ISBN978-4-901429-72-6
2. 『スーパ-合格日本語能力試験N1文法対策標準テキスト』行田悦子他著 秀和システム 201 ISBN 978-4-7980-2564-3 C0081
3. 『日本語文型辞典』グループ・ジャマシイ くろしお出版 1998 ISBN 4-87424-154-9

授業計画

1. 授業内容や評価方法の説明 / N1文法のチェック
2. 「同時に・すぐに」という意味を表す機能語
3. 「同時に・すぐに」という意味を表す機能語
4. 「同時に・すぐに」という意味を表す機能語
5. 「理由・逆説・仮定」という意味を表す機能語
6. 「理由・逆説・仮定」という意味を表す機能語
7. 「理由・逆説・仮定」という意味を表す機能語
8. 中間期理解度試験の実施とその解説
9. 「目的や驚きの表現」という意味を表す機能語
10. 「目的や驚きの表現」という意味を表す機能語
11. 「目的や驚きの表現」という意味を表す機能語
12. 「程度ととりたて」という意味を表す機能語
13. 「程度ととりたて」という意味を表す機能語
14. 「程度ととりたて」という意味を表す機能語
15. 総復習及び期末定期試験の傾向と対策

予習・復習

1. 授業前には学習する新しい機能語に目を通しておくこと
2. 授業後、学習した機能語の意味と接続の形を理解、定着させるために、実際の問題を何度も解いてみる
3. 既習の機能語が日常どんな場面で使われているかに注意し、積極的に使用すること

備考